



## グループで認知症の予防を！

平成18年4月から施行される改正介護保険法では、介護予防を重視する制度に変わります。当センターでは、2月10日(金)に熱海市観光会館ホールにおいて、介護予防事業従事者を対象に「認知症予防・支援」をテーマにした研修会を開催しました。

講師：東京都老人総合研究所 認知症予防対策室研究員 釘宮 由紀子 氏

参加者：介護サービス事業所の職員や市町の担当者など約170人

### ○認知症の前兆

アルツハイマー型認知症になる前に、平均して6～7年間、以下のような機能に低下がみられます。

#### ①エピソード記憶

「昨日の夕食に〇〇を食べた」というように、体験したことを覚えている能力

**きたえる方法** 買った物を思い出しながら家計簿をつける  
2日遅れの日記をつける

#### ②注意分割

2つや3つのことに注意を振り分ける能力

**きたえる方法** 2つや3つのことを同時にする  
てきぱき仕事をする  
相手に注意を配りながら話をする

#### ③計画力

新しいことをするとき、うまくいくように手順を考える能力

**きたえる方法** 新しい料理を考えてみる  
旅行の計画を立てる  
パソコンでミニコミ誌を作る など



### ○地域型認知症予防プログラム

認知症の予防は、家庭で一人でもできますが、一人では続けるのが難しいものです。そこで、地域の人などで一緒にやるのが大切であり、次のような特徴を持った地域型認知症予防プログラムが必要です。

- ・高齢者の好む活動（ウォーキング、料理、パソコン、旅行、園芸、ミニコミ誌づくり）
- ・週に1回、定期的に、小集団で行う
- ・健全な高齢者も対象とする
- ・認知症予防が目的であることを認識
- ・自主的な活動を目指す
- ・グループの組織化、地域への普及を目指す
- ・ファシリテーター（支援者）による援助
- ・行動評価と結果評価

### ○認知症予防・支援の取組み

- ・軽度の認知障害を持つ高齢者を対象にした特定高齢者施策と、全ての高齢者を対象にした一般高齢者施策との2層構造で予防・支援を進めます。
- ・一般高齢者施策では、認知症予防に役立つ地域の資源（ウォーキングに適したコース、講座、指導者など）に関する情報をデータベース化し、住民へ提供したり、地域活動の育成・支援を行います。
- ・特定高齢者施策では、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上等のプログラムを通じて、認知症の改善と悪化を予防します。



第19回全国健康福祉祭しずおか大会

ねりんピック静岡2006

平成18年10月28日(土)～31日(火)

奏でよう ふじのくにから 健康賛歌

# はじまります障害者自立支援法

これまでは身体障害と知的障害、精神障害といった障害の種類や年齢により、受けられる福祉サービスの内容が決められていましたが、この4月から新しい法律「障害者自立支援法」により、どの障害の人も共通のサービスを地域において受けられるようになります。

利用者負担の変更(1割負担)、自立支援医療は4月から、新しいサービス体系への移行は10月から始まります。

## 障害者自立支援法による新しいサービスのしくみ

複雑に組み合わさっていた福祉サービスが一つになり、総合的に障害者の地域での自立した生活を支援します

### 介護給付

障害程度が一定以上の人に生活又は療養上の必要な介護を行います

- ・ 居宅介護（ホームヘルプ）
- ・ 重度訪問介護
- ・ 療養介護
- ・ 児童デイサービス
- ・ 短期入所（ショートステイ）
- ・ 重度障害者等包括支援
- ・ 共同生活介護（ケアホーム）
- ・ 行動援護
- ・ 生活介護
- ・ 施設入所支援



### 自立支援医療

障害の種類や年齢により決められていた医療費のしくみが一本化

### 補装具費の支給

補装具の購入や修理にかかる費用の原則1割を自己負担、9割を市町が負担します（所得に応じた自己負担上限額を設定）

### 訓練等給付

身体的又は社会的なリハビリテーションや就労につながる支援を行います

- ・ 自立訓練
- ・ 就労移行支援
- ・ 就労継続支援
- ・ 共同生活援助（グループホーム）

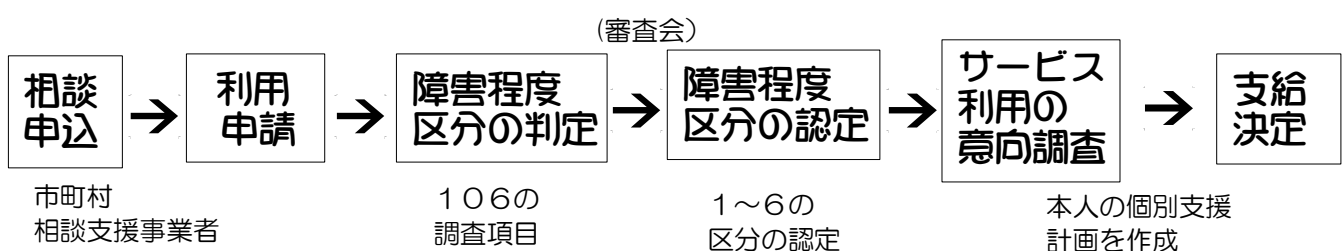


### 地域生活支援事業

市町村等が障害者を総合的に支援する体制をつくり、さまざまな事業を行います

- ・ 相談支援事業
- ・ 日常生活用具の給付
- ・ コミュニケーション支援（手話通訳など）
- ・ 移動支援事業

## サービス利用までの流れ



# 健康になるための知識が満載！養生瓦版第2号

誰もが知りたい健康になるためのコツをお届けする「養生瓦版」。第2号が完成！今回は、温泉入浴法と転倒防止の大腰筋トレーニング法を特集しています。

当センターや熱海銀座商店街、伊東キネマ通りで配布中です！



## 結核治療成績の検討会を行いました



1月12日に保健所で、結核診査会の医師や管内の医療機関担当者が参加し、結核の治療成績に関する検討会（コホート検討会）を開催。約10名の患者について、病状や薬の服用に関して意見交換を行いました。

結核を治療するためには、患者が長期間にわたり薬を服用する必要があります。これまでは保健所が主治医の協力を得て、薬の服用状況や治療の経過を確認してきました。

今後はこの検討会を開催し多くの意見を聞くことで、個々の患者についてより効率的な治療方法を探っていきます。

犬の飼い主の皆様にお知らせします

## 狂犬病予防注射と登録はもう済みましたか？

狂犬病は犬に限らず人を含めたすべての哺乳類に感染し、発症すると100%死亡する危険な病気です。日本では、昭和32年以降狂犬病の発生はありません。しかしながら、世界各地で年間3万～5万人が狂犬病で死亡し、しかもその90%以上は近隣のアジアで発生しています。日本では、ペットブームでアジア諸国からの子犬の輸入が急増しているため、いつ狂犬病が侵入してもおかしくありません。

犬のワクチン接種と犬の登録は、狂犬病の拡大を未然に防ぐために必要不可欠であり、狂犬病予防法でも義務づけられています。

毎年4月に狂犬病の集合注射を各地区ごとに開催しています（熱海市8回、伊東市21回）。犬の登録も受け付けますので、犬の飼い主の皆様はぜひご利用ください。



＜狂犬病予防注射の開催場所・日時に関する問合せ＞

熱海市役所 環境課 0557-86-6273

伊東市役所 環境防災課 0557-36-0111(内線2484)

# 熱海健康福祉センター “この1年”

## めざせ温泉マイスター

養成講座・第2入門講座に38人

熱海健康福祉センター（岩間真人所）

なお、昨年九月に行われた第一回入門講座では全日程を良好な態度で受講した六十六人が知事名による修了式で熱心に取り組む実践的入浴方法

## 障害者の生活支援へ

30施設・機関代表ら情報交換

熱海伊東地域



熱海伊東地域保健会＝熱海海総舎行舎で

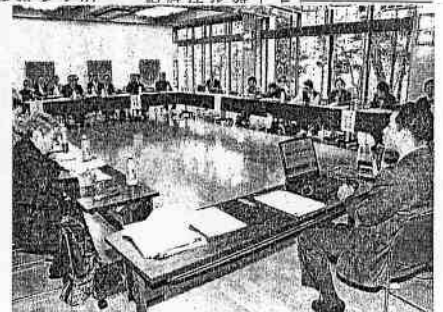
## 県・市がフォーラム

200人が中村自治医大教授が講演

地域・福祉関係フォーラム（熱海健康福祉センター、伊東市主催）が九日、伊東市米町の生涯学習センターひぐらし会館で開かれた。健康づくり関係団体や市民約二百人が出席し、中村好一（自治医科大学教授、公衆衛生学）による講演「市民生活と健康づくり」が中心だった。

医療、観光と4氏が「食の安全」意見交換

熱海業界、行政など連携大切  
県は十五日、「食の安全」を聞いた後、意見交換会「食の安全」をテーマにした。中村好一（自治医科大学教授）が講演した。熱海消費問題研究会、岡山英光主幹は、県や国市健康づくり推進の施策に意見する消費者



県が実施している食の安全対策を聞く出席者＝熱海市昭和町の起雲閣

## エイズの正しい知識理解を

熱海健康福祉センター 予防促進へコーナー特設

## 第2回も大人気、80人受講

レス、ライブ、温泉クイズなど健康まわりの熱海銀座商店街

熱海健康福祉センターは十一月の「世界エイズデー」に合わせて、正しい知識を身につけてもらうと特設コーナー

## 健康増進へ地域、職域の連携を

伊東市 熱海健康福祉センター

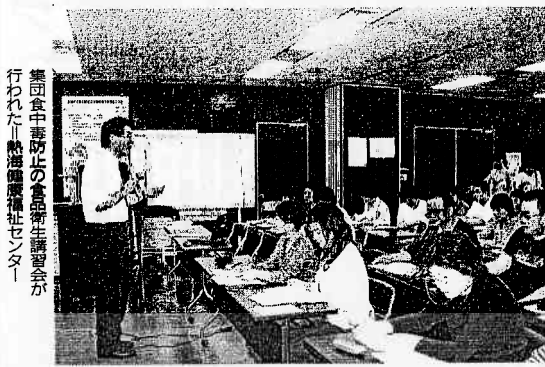
## ノロウイルス感染症と食中毒予防

## 集団食中毒の防止を

県給食協会熱海・伊東支部

## 調理従事者

伊東で県政「手洗い、加熱徹底を」  
ミーティング



集団食中毒防止の食品衛生講習会が行われた熱海健康福祉センター

## 食中毒予防法を

県政タウン「入念な手洗い」  
熱海健康福祉センターとして伊東市米木町の市一は、このほど、県政と生涯学習センターひぐらし会館で、食中毒防止の講習会を開催し、食中毒の予防法について説明した。



西尾室長らに食中毒防止について質問する参加者  
＝伊東市米木町の市生涯学習センターひぐらし会館